

平成28年省エネルギー基準対応 JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）

自己適合宣言書文書番号		ST73002	附属書番号	ABN0006A3
発行者の名称		三協立山株式会社 三協アルミ社		
作成日		2018年3月12日	改訂日	2018年10月19日
商品	スマージュ			
仕様	複層ガラス			
窓種	・引違い窓 窓タイプ（2枚建） ・引違い窓 テラスタイプ（2枚建、4枚建） ・両袖片引き窓			

■ ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率

ガラス構成		アルゴンガス入り					
		一般ガラス					
		透明			型		
					型4	型4	
		室外ガラス厚	3	5	4	型4	型4
		中空層厚	16	14	14	16	14
		室内ガラス厚	3	3	4	3	4
熱貫流率区分	Low-E	グリーン	A	A	A	A	A
		ブロンズ	A	A	A	A	A
		クリア	A	A	A	A	A
日射熱取得率	Low-E	グリーン	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
		ブロンズ	0.32	0.31	0.32	0.32	0.32
		クリア	0.45	0.43	0.44	0.44	0.44

<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率（ガラスの日射熱取得率）>

日射熱取得率	Low-E	グリーン	0.49	0.48	0.48	0.48	0.48
		ブロンズ	0.44	0.43	0.44	0.44	0.44
		クリア	0.62	0.60	0.61	0.61	0.61

開口部の熱貫流率

アルミスペーサー仕様								
区分記号	ガラス中央部の熱貫流率[W/m ² K]	開口部の熱貫流率[W/m ² K]				試験値	計算値	建具とガラスの組合せ
		付属部材無し	シャッター・雨戸付	和障子付	風除室あり			
A	1.2 以下	1.55	1.45	1.39	1.35	○		

■ 本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

〈開口部の熱貫流率〉

- ・試験値はJIS A 4710に基づく試験により測定した代表試験体の熱貫流率です。
- ・計算値はJIS A 2102に基づき社内で算出した代表試験体の熱貫流率です。
- ・建具とガラスの組合せは、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 付録B 窓又はドアの熱貫流率」に基づく熱貫流率です。
- ・付属部材が付与される場合の開口部の熱貫流率は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 5.2.2 付属部材が付与される場合および 5.2.3 風除室に面する場合」に基づく値です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
- ・記載されている内容は、製品の仕様変更等により、予告無く修正する場合がありますのであらかじめご了承ください。

〈日射熱取得率〉

- ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第四節 日射熱取得率 6 大部分がガラスで構成されている窓等の開口部 および 7 大部分がガラスで構成されていないドア等の開口部」に基づく値です。
- ・開口部の日射熱取得率は、ガラスの日射熱取得率に0.72の係数を掛けた値です。（小数第三位以下四捨五入）
- ・当社ホームページ内「④建具とガラスの組合せ」の「開口部の熱貫流率・日射熱取得率」の値もご使用いただけます。
- ・住宅の仕様基準判断にご使用の場合は、<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率（ガラスの日射熱取得率）>をご使用ください。